

平成30年度第11回大阪府生徒研究発表会～大阪サイエンスデイ（第1部）～が10月20日（土）に大阪府立天王寺高等学校で実施されました。大阪サイエンスデイとは、大阪府内の高校生が日ごろから各学校で取り組んでいる科学・技術に関する課題研究の成果発表会のことで、今年度は、ポスターセッション（パネル発表）の第1部とオーラルセッション（口頭発表）の第2部に日程を分けて開催され、10月20日（土）は、第1部のポスターセッションの部が開催されました。

本校からは、ポスターセッションで、3年生3名が『理想のミルククラウンを目指して』、2年生3名が『炎色反応を利用したろうそくの作製』、そして、サイエンス部1年生5名が『泉北高校ビオトープ池の動植物の経年変化2005～2018』の研究テーマで発表を行いました。審査を行っていただいた大学、高校の先生方だけでなく、たくさんの高校生が、泉北高校のポスター発表を聞きに来てくれて、活発な意見交流をすることができました。

また、本校の総合科学科で科学探究基礎を受講している1年生についても、当日、ポスターセッションに参加して各高校の発表を聴講しました。各校のポスターを見学、発表を聞いて、刺激を受けるとともに、今年度の科学探究基礎、来年度の科学探究Iの参考にしてもらえればと思います。

12月23日（日）には、大阪工業大学梅田キャンパスにて、第2部のオーラルセッションが開催されます。他校に負けないよう、しっかりと発表ができるように準備していきたいと思います。

